

# 電気通信大学で雇用する特別研究員 - PD 等の育成方針

自らの専門分野の知識や技術を身につけるだけでなく、幅広い先端的な分野横断の知識や技術を理解し活用できる人材を育成するため、以下の通り PD 等の育成方針を示す。

## 1. 研究環境の整備

PD が高水準の研究を行うための適切な研究スペースの確保や共同設備利用促進、および研究資金の提供などの研究環境の整備を行う。URA のサポートにより産学官連携研究の機会を提供し、研究者としての自立を支援する。

## 2. キャリア開発支援

優れた研究者になると共に、指導者として必要なリーダーシップ、マネジメント能力等の涵養のための指導・アドバイスを積極的に行い、研究者として成長するための能力開発機会を提供する。また、キャリアパスの多様化に向け、産学官を通じたポストとのマッチングに取り組むとともに、ベンチャー・スタートアップ創出のマインドセットを涵養する。これらにより、自らの主たる専門分野の卓越性をベースとしつつ他分野の研究者と協働することによってイノベーション創出の牽引役となる人材（研究インテグレータ）を育成する。

## 3. 研究指導の充実

受け入れ教員および経験・実績豊富なメンター教員とのオープンコミュニケーションを強化する。また、定期的な進捗報告を全学的に行うとともに、フィードバックを提供することにより、様々な視点からの研究指導を行う。

## 4. 多様な活躍の機会と環境の提供

全学的な情報交換の場を提供し、定期的に様々な分野の研究者とコミュニケーションをとることで、異分野連携研究の創出をサポートする。

## 5. スキルアップのためのデータサイエンス教育の提供

スキルアップとキャリアパス形成支援のためのデータサイエンス教育を提供する。

## 6. 働きやすい労働環境の提供

学長等執行部との面談の機会を提供し、大学組織全体としての適切な対応を行う。